



資料編

1 計画の策定経過

年月日	概 要
令和5(2023)年6月13日	第1回甲府市庁内食育検討委員会 ・第4次食育推進計画の策定について
令和5(2023)年6月26日	第1回甲府市食育推進計画協議会 ・第4次食育推進計画の策定について ・第4次食育推進計画アンケート(案)について
令和5(2023)年7月8日～ 7月31日	「食育」に関するアンケート調査の実施 対象：幼児保護者 小学生(5・6年生) 中学生(3年生) 16歳以上の市民
令和5(2023)年10月3日	第1回甲府市庁内検討専門部会 ・甲府市食育推進計画の第3次計画目標値の実績について ・第4次甲府市食育推進計画骨子案について
令和5(2023)年10月17日	第2回甲府市食育推進計画協議会 ・「食育」に関するアンケート調査結果について ・第3次甲府市食育推進計画の目標値の実績について ・第4次甲府市食育推進計画骨子案について
令和5(2023)年11月28日	第3回甲府市食育推進計画協議会 ・第4次甲府市食育推進計画素案について ・第4次甲府市食育推進計画目標指標(案)について
令和5(2023)年12月25日 ～令和6(2024)年1月24日	「こうふ市民意見提出制度」(パブリックコメント)の実施
令和6(2024)年2月1日	第2回甲府市庁内食育検討委員会 ・第4次甲府市食育推進計画素案について ・「こうふ市民意見提出制度」(パブリックコメント)の結果について
令和6(2024)年2月13日	第4回甲府市食育推進計画協議会 ・第4次甲府市食育推進計画素案について ・「こうふ市民意見提出制度」(パブリックコメント)の結果について
令和6(2024)年3月	第4次甲府市食育推進計画策定

庁内ワーキング部会については全6回開催

2 甲府市食育推進計画協議会

(1) 甲府市食育推進計画協議会設置要綱

平成 30 年 4 月 25 日
福 第 5 号

(設置)

第 1 食育基本法（平成 17 年法律第 63 号）に基づき、甲府市食育推進計画（以下「計画」という。）を見直し及び策定するにあたり、専門的かつ客観的な立場から幅広く意見交換を行うため、甲府市食育推進計画協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 協議会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画に基づく食育の推進について必要な事項の協議に関すること
- (2) 計画の進捗状況の確認並びに計画の評価及び見直しに関すること
- (3) その他計画に関し市長が特に必要と認めた事項

(組織)

第 3 協議会は、委員 20 名以内とし、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係機関又は団体の代表者等
- (3) 市民

(任期)

第 4 委員の任期は、委嘱日から 3 年間とし、任期中に委員が欠けた場合は、必要に応じて補充するものとする。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 5 協議会に会長及び副会長を各 1 名置き、委員の中から互選する。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を統理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ開くことはできない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 協議会は、その任務を遂行するために必要があると認めるときは、関係者に対し、出席を求めて意見又は説明を聞くほか、資料の提出その他の必要な協力を求めることができる。

(報償)

第 7 委員の報償は、会長については日額 6, 900 円、委員については、日額 6, 200 円とする。

(庶務)

第 8 協議会の庶務は、福祉保健部地域保健課において処理する。

(その他)

第9 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮って決めるものとする。

附 則

この要綱は、平成30年4月25日から施行する。

この要綱は、平成30年5月25日から施行する。

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

(2) 甲府市食育推進計画協議会名簿

(50音順 敬称略)

団体等の名称	役職名	氏名	
全国健康保険協会山梨支部	支部長	浅川 文明	
甲府市立小中学校長会	校長	江頭 俊哉	
一般社団法人 甲府市地方卸売市場協会	副会長	遠藤 久史	
山梨学院大学	健康栄養学部 教授	古閑 美奈子	会長
甲府市食生活改善推進員連絡協議会	会長	志田 昌子	
公募		集堂 奈穂美	
一般社団法人 甲府市医師会	理事	高野 美紀子	副会長
一般社団法人 甲府市歯科医師会	会長	武井 啓一	
甲府市小中学校 PTA 連合会	常任理事	中澤 明美	
山梨みらい農業協同組合	職員 (センター長)	服部 司	
公益社団法人 山梨県栄養士会	会長	平井 美樹夫	
公益社団法人 山梨県私学教育振興会 幼稚園部会	園長	深沢 真美	
甲府市保育連合会	副会長	藤巻 順子	
甲府市教育委員会	教育長	松田 昌樹	
公募		望月 歩	
甲府市保健所	保健所長	山縣 然太郎	

3 甲府市庁内食育検討委員会

(1) 甲府市庁内食育検討委員会設置要綱

平成 20 年 6 月 30 日

福 第 5 号

(設置)

第 1 甲府市食育推進計画（以下「計画」という。）の策定について検討し、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための庁内組織である甲府市庁内食育検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 計画についての検討に関すること。
- (2) 食育に関する取組の整理及び計画策定に関する課題整理に関すること。
- (3) 食育に関する施策の推進に関すること。

(組織)

第 3 委員会は関係部局の長をもって組織する。

- 2 委員会に委員長を置く。
- 3 委員長は、福祉保健部長をもって充て、委員会を代表し、会務を総理する。

(会議)

第 4 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

委員長は、必要があるときは、委員以外の職員の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

(専門部会)

第 5 第 2 に定める委員会の所掌事務について調査し、検討するほか、施策の推進に必要な事項を協議するため、庁内検討専門部会（以下「専門部会」という。）を置く。

- 2 専門部会は関係課の課長等をもって組織する。
- 3 専門部会の部会長（以下「専門部会長」という。）は、福祉保健部健康支援室長をもって充て、専門部会を代表し、会務を総理する。なお、専門部会の会議は、専門部会長が必要に応じて招集し、専門部会長が議長となる。
- 4 専門部会長は、必要があると認めるときは、専門部会を構成する者以外の職員に対し、会議への出席を求め、その意見を聴取し、又は関係課に対し資料の提出を求めることができる。

(ワーキング部会)

第 6 第 2 に定める委員会の所掌事務について調査し、検討するほか、アンケートの考察、課題整理、施策の推進に必要な事項を協議するため、庁内ワーキング部会（以下「ワーキング部会」という。）を置く。

- 2 ワーキング部会は関係課の担当者等をもって組織する。
- 3 ワーキング部会の部会長（以下「ワーキング部会長」という。）は、福祉保健部健康支援室地域保健課長をもって充て、ワーキング部会を代表し、会務を総理する。なお、ワーキング部会の会議はワーキング部会長が議長となる。
- 4 ワーキング部会長は必要があると認めるときは、ワーキング部会を構成する者以外の

職員に対し、会議への出席を求め、その意見を聴取し、又は関係課に対し資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7 委員会、専門部会及びワーキング部会の庶務は、福祉保健部健康支援室地域保健課において処理する。

(その他)

第8 この要綱に定めるもののほか、委員会、専門部会及びワーキング部会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年6月30日から施行する。

この要綱は、平成25年5月9日から施行する。

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

この要綱は、令和5年4月3日から施行する。

(2) 甲府市庁内食育検討委員会委員名簿

◎委員長

◎部会長

庁内食育検討委員会	
市長直轄組織	危機管理監
企画財務部	企画財務部長
市民部	市民部長
福祉保健部	◎福祉保健部長
	保健衛生監
子ども未来部	子ども未来部長
環境部	環境部長
産業部	産業部長
教育部	教育部長
上下水道局業務部	業務部長
上下水道局工務部	工務部長

庁内検討専門部会		
市長直轄組織	危機管理室	防災企画課長
企画財務部	政策推進室	政策課長
市民部	市民総室	総務課長
福祉保健部	福祉保健総室	総務課長
	保険経営室	健康保険課長
	健康支援室	◎健康支援室長 健康政策課長
	保健衛生室	生活衛生薬務課長
子ども未来部	子ども未来総室	子育て支援課長
		子ども保育課長
		母子保健課長
環境部	環境対策室	ごみ減量課長
産業部	農林振興室	農政課長 就農支援課長
	市場経営室	経営管理課長
教育部	教育総室	学校教育課長
		学事課長
	生涯学習室	生涯学習課長
上下水道局業務部	業務総室	経営企画課長
上下水道局工務部	水道管理室	水保全課長
		浄水課長

◎部会長

庁内ワーキング部会			
市長直轄組織	危機管理室	防災企画課	防災企画係
企画財務部	政策推進室	政策課	政策係
市民部	市民総室	総務課	消費生活係
福祉保健部	福祉保健総室	総務課	高齢者支援係
	保険経営室	健康保険課	給付係
			後期医療係
	健康支援室	健康政策課	健康生きがい係
地域保健課		◎地域保健課長	
保健衛生室	生活衛生業務課	生活衛生業務係	
子ども未来部	子ども未来総室	子育て支援課	子育て支援係
		子ども保育課	子ども保育係
			北新保育所
母子保健課	母子保健係		
環境部	環境対策室	ごみ減量課	ごみ減量係
産業部	農林振興室	農政課	振興係
		就農支援課	就農支援係
	市場経営室	経営管理課	経営係
教育部	教育総室	学校教育課	教育指導係
		学事課	保健給食係
	生涯学習室	生涯学習課	生涯学習係
上下水道局業務部	業務総室	経営企画課	企画広報係
上下水道局工務部	水道管理室	水保全課	水源保全係
		浄水課	水質係

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

資料編

資料編

4 市民アンケート調査の実施状況と集計結果

(1) 実施概要

調査期間：令和5（2023）年7月8日～7月31日

調査の種類	対象者・数	調査方法	有効回収数（率）
一般市民調査	16歳以上の市内居住者から無作為抽出した3500人	郵送調査及びインターネット調査の併用	1011サンプル（28.9%）
幼児保護者調査	市内の保育園・幼稚園・認定こども園に通う園児の保護者438人	保育園・幼稚園・認定こども園を通じた調査票配布	334サンプル（76.3%）
小学生調査	市内の小学校に通う5・6年生380人	小学校を通じた調査票配布	367サンプル（96.6%）
中学生調査	市内の中学校に通う3年生357人	中学校を通じた調査票配布	299サンプル（83.8%）

(2) 集計結果

※基数となるべき実数を、n（number of cases の略）として表示しています。

※表内数値はnに対する構成比（%）を表しています。

回答者の状況

◆性別

※幼児はお子さんの性別

	男性	女性	回答しない	無回答
一般（n=1011）	40.0	57.9	1.1	1.1
幼児（n=334）	47.3	52.4	-	0.3
小学生（n=367）	51.5	46.9	1.4	0.3
中学生（n=299）	49.2	49.5	1.0	0.3

◆年齢・学年

	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
一般（n=1011）	19.7	8.8	13.6	7.8	9.9	10.6	11.9	9.3	8.4

	4歳	5歳	6歳	無回答
幼児（n=334）	25.1	58.7	15.6	0.6

	5年生	6年生	無回答
小学生（n=367）	49.9	49.3	0.8

◆居住地

	東部地域	西部地域	南部地域	北部地域	中央部地域	市外	無回答
一般（n=1011）	21.2	18.0	32.8	17.7	8.9	-	1.4
幼児（n=334）	18.6	20.4	24.0	15.6	7.5	4.5	9.6

◆世帯構成

	単身世帯	夫婦のみ世帯	二世帯（あなたが親）	二世帯（あなたが子）	三世帯（あなたが親）	三世帯（あなたが子）	三世帯（あなたが孫）	その他	無回答
一般（n=1011）	14.7	24.0	25.1	27.9	0.6	2.6	2.3	1.4	1.4

	二世帯世帯（子・親）	三世帯世帯（子・親・祖父母）	その他	無回答
幼児（n=334）	89.5	9.9	0.6	0.0

◆同居家族（複数回答）

	親	きょうだい	おじいさん・おばあさん	その他
小学生（n=367）	99.5	80.1	15.0	0.5
中学生（n=299）	98.7	69.2	18.1	1.0

◆職業

	自営業主 / 家族専従者	会社員・団体職員	公務員	パート・アルバイト	学生	専業主婦・主夫	無職	その他	無回答
一般（n=1011）	6.6	22.8	7.1	10.8	21.8	13.0	13.3	3.4	1.3

◆健康状態

	とても良い	まあ良い	どちらともいえない	あまり良くない	良くない	無回答
一般（n=1011）	17.4	55.0	17.4	7.8	1.7	0.7
幼児（n=334）	62.3	35.9	1.2	0.3	0.0	0.3
小学生（n=367）	54.5	34.3	6.8	2.5	0.8	1.1
中学生（n=299）	36.8	49.5	9.0	3.7	0.3	0.7

◆BMI判定

	やせ	ふつう	肥満	無回答
一般（n=1011）	21.7	52.0	14.5	11.8

◆肥満度判定

※幼児はお子さんの判定

	ふとりすぎ	ややふとりすぎ	ふとりぎみ	ふつう	やせ	やせすぎ	無回答
幼児（n=334）	2.1	1.5	2.1	81.4	3.3	1.8	7.8

	やせ	普通	軽度肥満	中等度肥満	高度肥満	無回答
小学生（n=367）	5.7	77.9	5.7	3.8	1.1	5.7
中学生（n=299）	7.4	83.9	2.3	1.7	0.0	4.7

◆自身の体型の認識

※幼児はお子さんの体格

	かなり太っている	やや（すこし）太っている	普通	やや（すこし）やせている	かなりやせている	無回答
一般（n=1011）	5.9	23.7	50.9	15.1	3.5	0.8
幼児（n=334）	0.3	9.9	63.8	24.0	2.1	0.0
小学生（n=367）	4.4	19.3	58.0	14.2	3.0	1.1
中学生（n=299）	3.7	19.4	60.2	14.7	1.7	0.3

基本方針 1 ふう：フード（食物）で心も身体も健康

◆「食育」の言葉の認知度

	言葉も意味も知っていた	言葉だけは知っていた	言葉も意味も知らなかった	無回答
一般 (n=1011)	58.0	34.2	7.1	0.7
幼児 (n=334)	72.8	26.0	0.9	0.3
小学生 (n=367)	24.0	55.3	19.9	0.8
中学生 (n=299)	20.7	62.5	15.7	1.0

◆「食育」の関心度

	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答
一般 (n=1011)	23.1	51.9	17.4	6.6	0.9
幼児 (n=334)	38.3	53.3	5.7	2.4	0.3
小学生 (n=367)	32.4	44.1	16.3	6.3	0.8
中学生 (n=299)	16.7	44.1	25.4	13.4	0.3

◆「食育」としてどのようなことを実践しているか

一般 (n=1011)

	積極的に実践している	できるだけするようにしている	したいと思っているが、していない	していない、したくないと思わない	無回答
①栄養バランスのとれた食生活の実践	16.1	62.4	17.7	2.7	1.1
②健康に留意した食習慣の実践	15.6	60.6	20.9	1.8	1.1
③自分で調理する	28.7	32.7	25.4	12.0	1.2
④調理方法・保存方法の習得	19.3	40.9	27.3	10.1	2.4
⑤おいしさや楽しさなど食の豊かさを大切にする	27.3	53.4	15.1	1.9	2.3
⑥地域や家庭で受け継がれてきた料理や味の継承	11.0	37.3	38.7	10.8	2.3
⑦家族や友人と食卓を囲む	41.4	40.4	13.4	3.4	1.5
⑧箸づかいなどの食べ方・作法の継承	33.9	46.7	13.9	3.7	1.8
⑨地場産物の購入	17.6	46.9	25.3	8.4	1.8
⑩食べ残しや食品の廃棄を削減	36.7	49.5	10.1	2.3	1.5
⑪食品の安全性についての理解	29.7	55.3	11.7	1.9	1.5
⑫規則正しい食生活の実践	34.1	47.2	15.6	1.8	1.3
⑬農業体験・学習への参加	6.4	12.6	46.5	32.7	1.8
⑭料理教室など食育に関する教室への参加	2.0	5.2	50.4	40.6	1.8
⑮食に関わるボランティア活動や地域活動への参加	2.3	5.1	45.6	44.4	2.6

◆「食生活改善推進員」の認知度

	名前も活動も知っていた	名前だけは知っていた	知らなかった	無回答
一般 (n=1011)	14.6	15.9	68.6	0.8
幼児 (n=334)	6.3	13.2	80.2	0.3
小学生 (n=367)	3.5	14.2	81.7	0.5
中学生 (n=299)	4.3	12.0	83.6	0.0

◆食事の時間が楽しいですか（幼児保護者への質問：お子様は楽しんでますか）

	楽しい（楽しんでいる）	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない（楽しんでいない）	無回答
一般 (n=1011)	49.5	43.8	4.7	1.6	0.4
幼児 (n=334)	38.6	50.3	10.2	0.9	0.0
小学生 (n=367)	64.6	32.2	1.4	1.6	0.3
中学生 (n=299)	57.9	36.1	3.7	1.7	0.7

◆朝食の習慣

	ほとんど毎日食べる	週に4～5日食べる	週に2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答
一般 (n=1011)	80.0	6.9	4.4	8.3	0.4
幼児 (n=334)	95.5	3.3	0.6	0.3	0.3
小学生 (n=367)	91.0	5.2	1.6	1.9	0.3
中学生 (n=299)	79.3	11.7	5.0	3.7	0.3

◆朝食を食べるために必要なこと

	朝食を用意する手間がかからないこと	朝食を用意する時間があること	早く起きられること	夕食や夜食を食べ過ぎていないこと	朝、食欲があること	ダイエットの必要がないこと	朝食を食べる習慣があること	朝食を食べるメリットを知っていること	労働時間や環境に無理がないこと
一般 (n=1011)	36.2	43.7	45.0	17.5	46.9	6.4	63.9	43.2	11.3

	家に朝食が用意されていること	手軽に朝食をとることができる環境があること	その他
一般 (n=1011)	23.1	6.9	1.6

	朝早く起きられること	夕食や夜食を食べ過ぎていないこと	朝、食欲があること	ダイエットの必要がないこと	朝食を食べる習慣があること	朝食を食べるよさを知っていること	夜更かしをしていない(夜遅くまで起きていない)こと	保護者に朝食を用意する時間があること	家に朝食が用意されていること
幼児 (n=334)	75.4	7.8	54.8	-	78.1	33.5	29.3	42.2	-
小学生 (n=367)	65.9	19.1	60.5	5.7	58.0	49.6	39.0	-	26.4
中学生 (n=299)	71.6	14.7	54.2	6.7	63.5	47.2	29.4	-	26.1

	自分で朝食が用意できること	コンビニ等で手軽に朝食をとることができること	その他
幼児 (n=334)	-	-	1.8
小学生 (n=367)	14.7	2.7	1.1
中学生 (n=299)	12.0	3.7	0.0

◆就寝前の2時間以内に夕食を食べることがあるか

	ほとんどない	週3日以上ある	夕食を食べない	無回答
一般 (n=1011)	74.1	22.5	2.0	1.5

◆外食の頻度

	毎日2回以上利用する	毎日1回利用する	週4～6回利用する	週2～3回利用する	週1回利用する	たまに利用する(週1回未満)	全く利用しない	無回答
一般 (n=1011)	0.4	1.6	2.1	8.9	17.1	61.5	8.0	0.4
幼児 (n=334)	0.3	0.3	0.3	6.6	25.4	64.4	2.4	0.3
小学生 (n=367)	0.5	0.3	0.3	14.4	19.3	54.5	10.4	0.3
中学生 (n=299)	0.0	0.7	0.0	6.7	18.1	63.5	9.4	1.7

◆持ち帰り弁当・総菜・ファストフードの利用頻度

	毎日2回以上利用する	毎日1回利用する	週4～6回利用する	週2～3回利用する	週1回利用する	たまに利用する(週1回未満)	全く利用しない	無回答
一般 (n=1011)	0.6	2.1	2.8	13.6	14.7	50.1	14.9	1.1
幼児 (n=334)	0.3	0.3	1.2	9.6	18.6	65.3	4.8	0.0
小学生 (n=367)	2.5	1.4	5.2	19.3	20.2	38.7	12.3	0.5
中学生 (n=299)	0.3	1.0	3.7	21.1	22.1	43.8	7.7	0.3

◆外食・テイクアウトメニュー選択理由

	栄養バランスがいい	低塩分のもの	野菜を多く含む	高カロリーのもの	低カロリーのもの	高たんぱく質のもの	栄養成分表示を参考にしている	他の食品とのバランスを考えて	そのときに食べたいもの
一般 (n=1011)	28.5	8.5	25.5	0.9	8.1	6.9	4.7	21.4	70.1

	価格の安いもの	利用しないので分からない
一般 (n=1011)	29.2	5.4

◆主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日に2回以上食べるのは、(給食以外に)週に何日あるか

	ほぼ毎日	週に4~5日	週に2~3日	ほとんどない	無回答
一般 (n=1011)	48.1	18.7	20.1	10.9	2.3
幼児 (n=334)	53.9	21.0	16.2	7.8	1.2
小学生 (n=367)	62.4	20.4	12.8	4.1	0.3
中学生 (n=299)	51.2	28.1	14.7	6.0	0.0

◆主食・主菜・副菜のうちそろえにくいもの

	主食	主菜	副菜	無回答
一般 (n=502)	12.0	10.0	73.9	4.2
幼児 (n=150)	0.7	6.0	92.0	1.3

◆野菜摂取頻度

	ほぼ毎日・1日3回	ほぼ毎日・1日1~2回	週に4~5回	週に2~3回	週1回以下	ほとんど食べない	無回答
一般 (n=1011)	27.7	44.1	14.1	9.7	1.6	0.8	2.0

	ほぼ毎日・1日2回	ほぼ毎日・1日1回	週に4~5日	週に2~3日	週に1回以下	ほとんどない	無回答
幼児 (n=334)	27.5	39.8	13.2	12.6	3.0	2.4	1.5
小学生 (n=367)	46.0	33.5	11.2	5.2	1.9	1.6	0.5
中学生 (n=299)	43.8	29.4	12.4	8.7	3.3	1.7	0.7

◆果物摂取頻度

※小・中学生は給食以外の摂取頻度

	ほぼ毎日	週3~4日	週1~2日	月1~3日	ほとんど食べない	無回答
一般 (n=1011)	25.7	22.1	22.4	16.2	12.5	1.2
幼児 (n=334)	21.9	26.9	32.6	10.5	6.9	1.2
小学生 (n=367)	19.9	27.0	29.7	12.3	10.9	0.3
中学生 (n=299)	15.4	25.8	28.4	16.1	13.7	0.7

◆主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすために必要なこと

	手間がかからないこと	時間があること	食費に余裕があること	自分で用意できること	食欲があること	3つそろえて食べるメリットを知っていること	家に用意されていること	外食やコンビニ等で手軽にとることができる環境があること	その他
一般 (n=1011)	50.8	44.4	44.0	30.2	24.8	26.4	23.4	5.6	1.3

	無回答
一般 (n=1011)	1.1

◆調理能力の有無

	ごはんを炊くことができる	簡単な料理を作ることができる	主食・主菜・副菜がそろった一食分の料理を作ることができる	作ることはできない	無回答
一般 (n=1011)	7.9	28.0	55.4	7.3	1.4
小学生 (n=367)	16.3	53.4	20.4	9.5	0.3
中学生 (n=299)	15.4	56.9	19.4	8.0	0.3

◆適正体重 (BMI) 範囲の認知度

	知っている	知らない	無回答
一般 (n=1011)	63.9	33.7	2.4

◆適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を心がけているか

	心がけている	心がけていない	無回答
一般 (n=1011)	68.1	30.8	1.2

◆よくかんで食べることを心がけているか

	心がけている	心がけていない	無回答
一般 (n=1011)	64.0	34.7	1.3
小学生 (n=367)	76.0	23.2	0.8
中学生 (n=299)	59.5	39.8	0.7

◆よくかんで食べていますか

	よくかんで食べている	どちらかといえばよくかんで食べている	どちらかといえばよくかんで食べていない	よくかんで食べていない	無回答
幼児 (n=334)	27.2	61.4	10.8	0.6	0.0

◆食事をかんで食べる時の状態

	何でもかんで食べることができる	歯、かみ合わせなどでかみにくいことがある	ほとんどかめない	無回答
一般 (n=1011)	81.2	16.6	1.3	0.9
幼児 (n=334)	89.5	9.9	0.3	0.3
小学生 (n=367)	83.7	14.2	0.3	1.9
中学生 (n=299)	88.6	7.4	1.7	2.3

◆よくかむことについて次の内容を知っていたか

	健康に良い	肥満の防止	介護予防	かみごたえのある食材を意識して食べることが必要	脳や胃腸の働きの活性化	窒息の予防
一般 (n=1011)	90.5	62.5	24.7	29.2	56.2	31.7

	健康に良い	太ることを防ぐ	かみごたえのある食材を意識して食べることが必要	脳や胃腸の働きを活発にする	のどにつまらせないために必要
小学生 (n=367)	79.3	32.2	35.1	37.6	70.3
中学生 (n=299)	74.9	52.2	33.8	25.4	60.9

◆五感を意識することで、食事がおいしく感じられることを知っているか

	知っている	知らない	無回答
一般 (n=1011)	79.4	19.1	1.5
幼児 (n=334)	85.6	13.8	0.6
小学生 (n=367)	73.8	25.9	0.3
中学生 (n=299)	81.3	17.7	1.0

◆今後の重要な食育

	栄養バランスのとれた食生活の実践	健康に留意した食習慣の実践	ゆっくりよいかむこと	自分で調理すること	調理方法・保存方法の習得	おいしさや楽しさなど食の豊かさを大切にすること	地域や家庭で受け継がれてきた料理や味の継承(教示)	家族や友人と食卓を囲む(一緒にご飯を食べる)	箸づかいなどの食べ方・作法の継承
一般 (n=1011)	78.3	52.0	36.5	30.4	31.1	48.8	22.2	42.4	21.8
幼児 (n=334)	76.9	34.7	24.3	32.0	26.9	66.5	22.2	64.1	48.2
小学生 (n=367)	91.0	77.1	68.4	21.0	34.9	68.1	33.0	43.1	32.2
中学生 (n=299)	90.6	68.6	49.2	21.4	29.8	62.2	30.1	49.5	31.8

	地場産物の購入(地域で作られている農作物の購入)	食べ残しや食品の廃棄を削減	食品の安全性についての理解	規則正しい食生活の実践	農業体験・学習への参加	料理教室など食育に関する教室への参加	デジタル技術の活用	食に関わるボランティア活動や地域活動への参加	その他
一般 (n=1011)	25.5	43.5	32.6	46.3	10.3	7.0	7.2	5.2	1.6
幼児 (n=334)	18.3	45.2	33.2	41.3	36.5	15.9	5.4	5.7	1.2
小学生 (n=367)	28.1	70.0	40.6	63.2	17.2	17.2	9.5	12.5	-
中学生 (n=299)	22.7	62.5	37.8	63.9	12.7	10.7	6.4	8.4	1.0

◆朝食・夕食を一緒に食べる人

朝食	家族そろって	大人の家族の誰かと	子どもたちだけで	1人で	食べない	無回答
幼児 (n=334)	20.1	44.9	25.7	8.1	0.0	1.2
小学生 (n=367)	43.1	24.8	16.9	10.9	1.9	2.5
中学生 (n=299)	33.8	19.4	11.4	28.4	3.0	4.0

夕食	家族そろって	大人の家族の誰かと	子どもたちだけで	1人で	食べない	無回答
幼児 (n=334)	51.2	44.6	0.9	0.0	0.0	3.3
小学生 (n=367)	64.0	23.4	6.0	2.7	0.3	3.5
中学生 (n=299)	67.2	19.7	2.3	5.0	0.0	5.7

◆食事のときに挨拶をしているか

	よくしている	たまにしている	あまりしていない	全くしていない	無回答
幼児 (n=334)	77.2	21.3	-	1.5	0.0
小学生 (n=367)	85.0	9.0	3.5	2.2	0.3
中学生 (n=299)	80.9	14.0	3.3	1.7	0.0

◆食事の手伝い

	ほぼ毎日する	週に数回する	月に数回する	ほとんどしていない	無回答
幼児 (n=334)	16.5	40.7	26.0	16.8	0.0
小学生 (n=367)	39.8	33.8	14.7	11.4	0.3
中学生 (n=299)	30.1	34.4	17.4	18.1	0.0

◆間食

	時間を決めて食べることが多い	欲しがるときに食べることが多い	甘い飲み物やお菓子に偏ることが多い	スナック菓子を食することが多い	食事で足りていない食品を食べることが多い	その他	特に気をつけていない
幼児 (n=334)	52.7	37.7	36.2	31.1	2.1	3.3	1.8

◆食事の食べ方

	食べる速さは、早いほうだ	歯ごたえのある食べ物を好んで食べている	食べ物を飲み込むとき、水やお茶などの水分で流し込む	食べ物を口にためてなかなか飲み込まない	一口量が多く、ほおばって食べる	口（唇）を閉じないで食べる	その他
幼児（n=334）	26.6	12.9	10.8	18.9	18.0	6.6	13.8

◆食生活で気をつけていること

	栄養バランス	食べる量	食べ物の大きさ、固さ	料理の味付け	料理の盛り付け、色どり	規則正しい時間に食事をすること	よくかむこと	食事のマナー	一緒に食べること
幼児（n=334）	75.1	53.3	32.9	49.4	31.4	38.6	29.6	68.6	69.5

	楽しく食べること	一緒に作ること	間食の内容	間食の量（間食は適量にする）	その他	特にない
幼児（n=334）	63.8	18.0	12.6	40.1	3.3	0.6

◆子どもが多く種類の食べ物や料理を味わえるようにするための工夫

	調理法で食べやすくなるように工夫している	料理の見た目を工夫している	一緒に食卓を囲んでいる	声かけをしている	いろいろな食品を食卓に並べる	嫌いな食品は使用しない	一緒に料理や片付けを行う	無理強いをしない	農業を体験させている
幼児（n=334）	56.3	28.1	62.3	65.9	32.0	7.8	31.4	35.9	14.7

	特に工夫はしていない
幼児（n=334）	1.2

◆食生活で困っていること

	食べること（食物）に関心がない	小食	食べ過ぎる	偏食する	むら食い	早食い、よくかまない	食べ物を口の中のためる	食べ物を口から出す	遊び食べをする
幼児（n=334）	10.2	18.3	6.6	30.5	24.3	7.8	5.1	3.3	20.4

	食べるのに時間がかかる	食事よりも甘い飲み物やお菓子を欲しがると	その他	特にない
幼児（n=334）	37.7	21.6	3.6	16.5

◆朝食の役割で知っていること

	エネルギーのもとになる	ねむっていた脳や体を目覚めさせる	生活リズムや体のリズムをつくる	体温を上げる
小学生（n=367）	86.1	52.9	73.6	41.1
中学生（n=299）	86.0	59.5	61.2	60.2

◆食品の安全性に関する基礎的な知識があると思うか

	十分にあると思う	ある程度あると思う	あまりないと思う	全くないと思う	無回答
一般（n=1011）	10.7	65.4	19.6	3.1	1.3

◆安全な食生活に関して気にしているか

	いつも気にしている	時々気にしている	あまり気にしていない	全く気にしていない	無回答
一般（n=1011）	39.2	46.8	10.2	2.6	1.3

◆食品の安全性について

	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
小学生（n=367）	92.6	6.0	1.4
中学生（n=299）	93.6	5.7	0.7

基本方針 2 りん：林・農を身近に感じる体験の促進

◆甲府市の水道水の満足度

	満足	やや（少し）満足	普通	やや（少し）不満	不満	無回答
一般（n=1011）	35.9	21.2	36.0	3.4	2.5	1.1
幼児（n=334）	23.1	17.4	47.9	6.6	1.8	3.3
小学生（n=367）	62.9	14.2	19.3	2.2	1.1	0.3
中学生（n=299）	54.5	14.0	27.4	3.0	0.3	0.7

◆産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいるか

	いつも選んでいる	時々選んでいる	あまり選んでいない	全く選んでいない	無回答
一般（n=1011）	22.5	41.4	24.0	10.3	1.8

◆市内の農産物の直売所を利用するか

	よく利用する	時々利用する	知っているが、あまり利用しない	知らない	無回答
一般（n=1011）	15.4	33.0	36.9	12.6	2.1

◆農作業などの体験

	種まきから収穫までしたことがある	収穫体験など、部分的に体験したことがある	体験したことはないが、今後体験してみたい（興味がある）	体験したことはない	無回答
幼児（n=334）	50.6	35.9	6.3	6.6	0.6

◆農作業等の体験後の変化

	食事を楽しむようになった	食べられなかった野菜などが食べられるようになった	食べ物への感謝を感じられるようになった	その他	変化はなかった
幼児（n=334）	33.2	21.0	15.9	7.8	22.8

基本方針 3 か：考える力を培い、食を楽しむ

◆郷土料理や伝統料理の伝承をしているか

	伝えている	伝えていない	無回答
一般（n=1011）	38.9	59.2	1.9
幼児（n=334）	60.2	39.5	0.3

◆伝承にはどのようなことが必要だと思うか

	家庭で伝える機会を持つこと	学校で伝える機会があること	地域で伝える機会があること	一緒に活動する仲間がいること	教材等が整っていること
一般（n=1011）	78.6	53.0	35.5	21.7	10.6
幼児（n=334）	79.6	75.4	29.3	20.4	8.1

◆郷土料理や行事食を家で食べているか

	ほうとう	おせち料理	七草がゆ	ちらし寿司	かしわもち・ちまき	ぼた餅・おはぎ	月見団子	かぼちゃ料理	年越しそば
一般 (n=1011)	74.7	71.4	43.8	40.3	45.7	53.3	58.9	53.7	84.3
幼児 (n=334)	60.5	56.6	23.1	44.9	33.5	27.8	52.4	38.3	70.4
小学生 (n=367)	82.6	69.5	37.3	66.2	42.5	43.3	67.0	53.1	74.9
中学生 (n=299)	93.0	79.3	45.8	69.9	64.2	55.2	71.9	55.2	85.6

	赤飯	その他	どれも食べない
一般 (n=1011)	56.1	2.3	2.2
幼児 (n=334)	41.3	3.0	6.0
小学生 (n=367)	62.4	2.5	2.5
中学生 (n=299)	77.6	1.7	0.7

◆甲府の食の魅力

	野菜がおいしい	果物がおいしい	肉がおいしい	水がおいしい	新鮮な野菜が手に入りやすい	食品を購入しやすい	外食がしやすい	家族や友人と食卓を囲む機会が多い	農業体験・学習に参加しやすい
一般 (n=1011)	45.1	67.9	16.2	47.1	46.6	28.5	16.7	19.3	2.3
幼児 (n=334)	25.1	56.3	8.7	26.3	38.3	31.4	20.4	15.6	10.5

	ほうとう、鳥もつ煮などの郷土料理がある	食文化が受け継がれている	食に関するボランティアや地域活動が盛ん	その他
一般 (n=1011)	48.3	11.6	2.5	2.3
幼児 (n=334)	47.0	4.8	1.8	0.9

◆郷土料理や伝統料理を知っているか

	よく知っている	まあ知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答
小学生 (n=367)	29.7	38.1	20.4	11.2	0.5
中学生 (n=299)	37.8	48.2	10.7	3.0	0.3

基本方針4 ざん：残食・ごみを少なくし、環境にやさしい食生活

◆生ごみをどのように処理しているか

	バイオ式処理機を使用している	乾燥式処理機を使用している	水切りをして「燃えるごみ」として捨てている	そのまま「燃えるごみ」として捨てている	その他	無回答
一般 (n=1011)	3.9	1.0	68.9	20.5	3.3	2.5

◆買いすぎ、作りすぎに気をつけているか

	気をつけている	気をつけていない	無回答
一般 (n=1011)	85.4	12.5	2.2

◆食品ロスを減らすために取り組んでいること

	残さずに食べる	「賞味期限」を過ぎても自分で食べられるか判断する	冷凍食品を使う	料理を作りすぎない	日頃から食材の種類・量・期限表示を確認する	残った料理を別の料理に作り替えるなど、工夫して食べる	期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	飲食店等で注文しすぎない	小分け商品等食べきれる量を購入する
一般 (n=1011)	79.3	64.0	29.8	39.2	37.9	25.7	30.8	25.7	28.0

	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	外食時には、希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	その他	取り組んでいることはない
一般 (n=1011)	11.0	7.2	1.2	2.2

◆好き嫌い

	何でも食べられる	嫌いなものも我慢して食べる	嫌いなものは残す	無回答
幼児 (n=334)	16.5	27.8	55.4	0.3
小学生 (n=367)	21.8	52.9	25.3	0.0
中学生 (n=299)	16.4	56.2	27.1	0.3

◆ペットボトルや空き容器などの分別

	いつも分別している	時々分別している	あまり分別していない	全く分別していない	無回答
幼児 (n=334)	39.2	23.4	13.8	23.7	0.0

◆食べ残しなどを日頃からもったいないと思うか

	いつも感じている	時々感じている	あまり感じていない	全く感じていない	無回答
小学生 (n=367)	58.3	34.9	4.1	2.5	0.3
中学生 (n=299)	40.1	52.8	5.0	1.3	0.7

◆食べ残しや食べ物を捨てることを減らすためにしていること

	残さずに食べる	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てず、食べられるか判断する	冷凍食品を使う	料理を作りすぎない	日頃から冷蔵庫等にある食材の種類・量・期限を確認する	残った料理を別の料理に切り替えるなど、工夫して食べる	賞味期限が近く値引きされている商品を選ぶ	店で料理を注文しすぎない	食べきれる量を買う
小学生 (n=367)	65.7	53.4	32.2	34.9	34.9	28.6	32.2	35.7	59.7
中学生 (n=299)	74.9	48.5	19.4	29.1	22.7	17.7	29.1	32.4	58.9

	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を買う	取り組んでいることはない
小学生 (n=367)	17.7	3.3
中学生 (n=299)	12.0	1.3

◆食品の空き容器を捨てる時の分別

	いつも分別している	時々分別している	あまり分別していない	全く分別していない	無回答
小学生 (n=367)	62.9	23.7	7.1	4.1	2.2
中学生 (n=299)	52.5	28.8	9.7	7.4	1.7

基本方針 5 食育を支える推進体制づくり

◆非常用食料の用意の有無

	用意している	用意していない	無回答
一般 (n=1011)	54.6	43.6	1.8
幼児 (n=334)	53.3	46.4	0.3

◆非常用食料の用意している日数

	1日分	2日分	3日分	4日分	5日分	6日分	1週間以上	無回答
一般 (n=552)	7.4	21.7	38.8	4.5	9.1	2.4	10.5	5.6
幼児 (n=178)	10.7	27.5	36.0	2.8	5.6	1.7	3.4	12.4

◆非常食の中身

	主食	主菜	副菜	飲料
一般 (n=552)	81.9	63.2	47.5	85.9
幼児 (n=178)	87.6	64.0	38.8	91.0

◆体に良い食事をするための情報源

	子ども園・保育所・幼稚園	学校	新聞・雑誌	本	テレビ	ラジオ	インターネット上のニュースサイト	YouTube等の動画サイト	ブログ、SNS
一般 (n=1011)	-	17.4	32.2	15.9	59.8	6.3	28.9	15.2	16.0
幼児 (n=334)	50.3	8.4	14.7	18.0	47.3	0.9	39.2	13.5	46.1
小学生 (n=367)	-	71.4	9.3	23.2	63.5	2.5	17.2	23.4	5.7
中学生 (n=299)	-	71.9	7.0	12.4	68.2	1.7	26.4	30.8	18.1

	生産者や食品業者のウェブサイト	市役所、県、国のウェブサイトや広報、教室等	家族とのやりとり	ネット上を含めた友達とのやりとり	スーパーマーケット等の食品の買い物をする場所	イベントや講演会
一般 (n=1011)	3.3	3.5	36.8	6.0	14.0	1.6
幼児 (n=334)	3.9	4.5	33.2	10.5	26.9	3.6
小学生 (n=367)	3.5	3.0	52.9	3.3	17.4	3.0
中学生 (n=299)	3.0	1.7	44.8	4.3	13.4	1.3

5 用語集

ここでは、本文中で*印の付いた用語について解説しています。

あ

SDGs (エスディーゼーズ)

SDGs (Sustainable Development Goals) は平成 27 (2015) 年 9 月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された世界共通の目標のこと。

令和 12 (2030) 年までに達成すべき 17 の目標と、それに紐づけられた 169 のターゲットで構成されており「誰一人取り残さない」という基本理念のもと、持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の目標として示されている。

か

外食

家庭以外の飲食店で食事をとること。一方、家庭で食材を料理して食事をとることは、内食 (ないしょく・うちしょく) という。

行事食

それぞれの年中行事に合わせて、食べる慣わしのある食事。由来は様々で、四季折々の旬のもの、健康に良いもの、神事に由来するものなどがある。おせちなど。

共食 (きょうしょく)

家族や友人など誰かと食事を共にすること。

郷土料理

その地域に根づいた産物を使い、その地域独自の調理方法で作られ、地域で広く伝承されている地域固有の料理。ほうとうなど。

欠食

食事をとらないこと。

血色素

血液中で酸素の運搬をしているたんぱく質の一種。ヘモグロビン (Hb) とも称される。

口腔機能

摂食 (食べ物を捕える)、咀嚼 (食べ物をかみ砕く)、嚥下 (食べ物を飲み込む) の機能や発音する機能など、口から喉までの部分が行う機能のこと。「食べる・話す」など人が社会の中で健康な生活を営む上で、重要な役割を担っている。

さ

主食・主菜・副菜

「主食」とは、ご飯やパン、麺類など、炭水化物の供給源になるもの。「主菜」とは、肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理で、たんぱく質の供給源になるもの。「副菜」とは、野菜・きのこ・いも・海藻などを使った料理で、ビタミン、ミネラル、食物繊維の供給源になるもの。

消費期限と賞味期限

消費期限は、袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、安全に食べられる期限のこと。お弁当、サンドイッチ、生めん、ケーキなど、傷みやすい食品に表示されている。一方、賞味期限は、袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、品質が変わらずおいしく食べられる期限のこと。消費期限に比べ、傷みにくい食品に表示されている。

除去食

アレルギーの原因となる食品を取り除いた食事のこと。

食育基本法

国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるようにするため、食育を総合的・計画的に推進することを目的として、平成17（2005）年6月に成立し、同年7月15日に施行された法律。

食育SAT（サット）システム

ICタグ内蔵の食品模型を選んでセンサーボックスに乗せると、瞬時に栄養価を計算し、選んだ献立の栄養価や栄養バランスなどの情報が画面に表示される食育教材。

食育推進基本計画

食育基本法に基づき、食育推進に関する施策についての基本的な方針、推進の日程に関する事項、総合的な促進に関する事項、推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項を定めており、現在は令和3（2021）年度からおおよそ5年間を計画期間とする第4次計画となっている。

食生活改善推進員（ヘルスマイト）

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、健康の基本である食生活の改善を主なテーマにし、まず我が家の食卓、更には地域住民にも正しい食生活を定着させることを目指した活動をしているボランティア。「食推さん」「ヘルスマイトさん」と呼ばれ、各地区食生活改善推進員会で活躍している。

生活習慣病

食習慣・運動習慣・休養・喫煙・飲酒などの生活習慣がその発症や進行に関与していると考えられる疾患（糖尿病、脂質異常症、高血圧症など）の総称。

た

第六次甲府市総合計画

総合的かつ計画的な行政運営の指針となるものであり、時代の潮流や市民意識の変化に的確に対応しながら、まちづくりの目標を明らかにし、これを達成するための施策や事業を示すもの。平成28（2016）年3月に策定されている。

地産地消

地元でとれた生産物を地元で消費すること。食料に対する安全志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組として期待されている。

低栄養

体の必要量に対して、食べ物からとるエネルギーやたんぱく質などの栄養素が足りない状態。

低出生体重児

出生時に体重が2,500g未満の新生児。

特定健診（特定健康診査）

医療保険者（健康保険組合や協会けんぽ、国民健康保険など）が40歳以上74歳以下の被保険者と被扶養者に対して毎年実施する健康診査。メタボリックシンドロームの該当者や予備群に対して、改善を指導するために行う。

特定保健指導

医療保険者が特定健診において、「健康保持の必要がある」と判定した人を対象に行う健康指導。動機付け支援・積極的支援の2段階がある。

な

中食（なかしょく）

外食と家庭での料理の中間にあるものとして、総菜や持ち帰りの弁当などそのまま食べられる状態に調理されたものを家などに持ち帰って利用すること。

は

ハイリスクアプローチ

健康リスクを抱えている人の中から、特に重度なリスクを持つ人を洗い出し、該当者に行動変容を促していく取組のこと。

BMI（ビーエムアイ）

BMIは肥満度と関連した計算式のこと。日本肥満学会が定めた判定基準は、成人では統計学的に最も病気にかかりにくいBMI22を標準としている。

計算式 BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

18歳以上の目標とするBMI (kg/m²) の範囲

年齢	BMI	やせ	ふつう	肥満
18～49歳		～18.4	18.5～24.9	25.0～
50～64歳		～19.9	20.0～24.9	25.0～
65歳以上		～21.4	21.5～24.9	25.0～

日本人の食事摂取基準 2020年版を基に分類

フレイル（虚弱）

「加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態」を表す「Frailty（フレイルティ）」の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語である。フレイルは、要介護状態に至る前段階として位置づけられるが、身体的脆弱性のみならず精神的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する。

HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

血色素のうちどれくらいの割合が糖と結合しているかを示す検査値のこと。ふだんの血糖値が高い人は値が高くなる。過去1～2か月の平均的な血糖値を反映する。

ポピュレーションアプローチ

健康リスクの大きさに関わらず、集団全体に対して同一の環境整備などを行い、全体としてのリスクを低下させる取組のこと。

ま

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）

肥満・高血糖・高中性脂肪血症・低HDLコレステロール血症・高血圧の危険因子が重なり合った状態。複合することによって糖尿病・心筋梗塞・脳卒中などの発症リスクが高まる。

ら

ライフイベント

就職・結婚・出産・子育て・教育・退職など、生涯経験すると予想されるできごとのこと。

ライフステージ

年齢に伴って変化する生活段階、年代別生活状況。

第4次甲府市食育推進計画
令和6（2024）年度～令和11（2029）年度

甲府市

発行 令和6（2024）年3月

住所 〒400-8585

甲府市丸の内一丁目18番1号

電話 055-237-1161（代表）

URL <https://www.city.kofu.yamanashi.jp/>

